学校番号	１０１０

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	国語表現	単位数	2	年次	3
使用教科書	国語表現　改訂版　（大修館書店）						
副教材等	国語表現　改訂版　基礎練習ノート（大修館書店）						

1　担当者からのメッセージ

・国語で表現する力を身につけるには、語彙力や漢字力、ことばの正しい使い方など、知識や技能が必要です。覚えなければならない事項はかならず覚えるようにしましょう。
・書くことを恐れず、さまざまな表現技法を使ってみることも大切です。まず書く量を増やして、添削などを受けながら、間違った使い方を修正したり、その場面にふさわしい表現法を身につけたりしてください。
・表現力は一朝一夕で身につくものではありません。新聞のコラムを毎日読む、すべての科目の教科書をしっかり読む、日常会話でも正しい表現を意識するなど、日々の暮らしの中でできることを見つけて、自学自習を心がけてください。

2　学習の到達目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：話す・聞く能力	c：書く能力	d：知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めようとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話したりして、自分の考えをまとめる。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書く。	言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙）	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期	1 書いて伝える	1 整った文を書く 2 わかりやすい文を書く 3 文のつなぎ方			◎		◎	c 主述の関係、副詞の呼応、文末表現の統一、話し言葉と書き言葉の違いなど、整った文を書くために大切なことを理解する。 c 長すぎる文を避け、わかりやすい文にする方法を理解する。 c 読点を適切に打ち、あいまいな文を避けることの大切さを理解する。 e 接続表現の種類と働きを理解する。 e 文脈による文のつながりを理解する。〃	・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
	2 小論文・レポート入門	1 小論文とは何か 2 反論を想定して書く 3 資料を読み取って書く 4 発想を広げて書く	○		◎		○	c 小論文の基本的な書き方を理解する。 c 筋道を立てて意見を書く。 e 原稿用紙の使い方や推敲の観点を理解する。 c 反論を想定して書く構成を理解し、小論文を書く。 e 文章の要旨をつかむための方法を理解する。 a 資料に対する自分の意見を明確にして小論文を書く。 e 発想を広げる方法を理解する。 c 発想を広げるための方法を活用して、小論文を書く。	・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
	3 自己PRと面接	1 自分を見つめて 2 効果的な自己PR 3 将来の自分を考えよう 4 志望動機をまとめよう	◎	◎	◎			a 経験から得たことや学んだことを考える。 a 他者の意見を聞いて、自分の長所を見つける。 b 自分の特長を端的に表現した、キャッチフレーズを作る。 b 事実やできごとをふまえて、効果的な自己 PR をする。〃 a 就きたい職業に就くために必要なことを調べる。 c 調べたことをふまえて、「将来の自分」についてまとめる。 a 志望先について十分な情報を集める。 c 調べたこと、やりたいこと、自己 PR の三つを結びつけ、説得力のある志望動機を書く。	・ワークシート ・小テスト ・定期テスト

二学期	4 メディアを駆使する	1 通信文を書き分ける 2 電話を使いこなす 3 ネット社会とコミュニケーション 4 メディアと情報	○	◎	○		◎	e さまざまな通信文の形式を理解する。 c 相手や目的に応じて適切な形式を選び、通信文を書く。 b 初対面や目上の相手に対する電話での話し方を理解する。 b 相手に応じた適切な言葉遣いや応対のしかたを理解する。 e ネットを用いたコミュニケーションの特長と使用する上での留意点を理解する。 e 電子メールを活用する上でのエチケットを理解する。 e 情報が編集されたものであることを理解する。 a メディアごとに立場や条件が異なり、情報の伝え方が異なることを理解する。	″・ワークシート ・作品 ・小テスト ・定期テスト″ ″・観察 ・相互評価、自己評価
	2 小論文・レポート入門	5 レポートを書く 6 論文を書くために	○		◎		◎	c レポートの基本的な書き方を理解する。 a 客観的な根拠を集めて、説得力のあるレポートをまとめる。 e 論文執筆の進め方とそのポイントを理解する。 e 引用の方法、参考文献や注の示し方を理解する。	・ワークシート ・作品 ・小テスト ・定期テスト
三学期	6 会話・議論・発表	1 相手や場面に応じた会話 2 議論して結論を出す 3 プレゼンテーションの工夫	○	◎				b 場面にふさわしい言葉遣いを考える。 b 適切な言葉遣いでロールプレイをする。 b 司会者などの役割を理解し、建設的な議論になるように協力し合いながら話し合いをする。 a 話し合いに積極的に参加し、結論を出すために貢献する。 b 視覚的資料を用い、効果的なプレゼンテーションをする。	・観察 ・ワークシート ・発表 ・相互評価、自己評価
	表現を楽しむ	1 言葉で遊ぶ 8 エッセイを書こう 9 パロディー物語を書こう	○		◎		○	a さまざまな言葉遊びを知り、おもしろさを味わい、言語文化に対する理解を深める。 c 言葉遊びの仕組みや面白さを理解し、オリジナル作品を作る。 c 読んだエッセイを参考にして、効果的な表現を工夫しながら自分でエッセイを書く。 e パロディー物語を読み、表現上の工夫を理解する。 c 著名な小説の表現特徴をまねて、パロディー物語を書く。	・観察 ・ワークシート ・作品 ・相互評価、自己評価